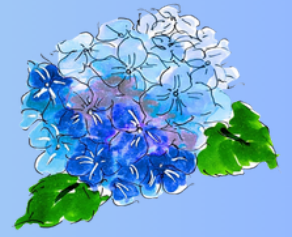


若草

相模原市立若草中学校
学校だより
第4号
令和8年7月1日



誰一人取り残さない「和」の社会

学校長 福岡 修一

北米で行われているサッカーワールドカップにて、世界の強豪と堂々と渡り合う日本代表チームの姿は、私たちに大きな活力を与えてくれました。今回の大会で私が日本チームに強く感じたのは、他国のように誰もが知る絶対的なスーパースターがいないのにもかかわらず、なぜこれほど組織として強いのかということです。森保監督の類まれなる指揮官としての采配もさることながら、その答えは、選手全員が示してくれた「個」の自立と、圧倒的な「和」の構築にあると思います。

現在の選手たちは、欧州のトップリーグで活躍する力を一人ひとりが持っています。しかし、彼らは決して個人プレイに走ることはありませんでした。ベンチにいてもチームの勝利のために声を枯らし、ピッチに立てば献身的なプレイを第一にしていました。さらには、ベテランと若手が対等に意見をぶつけ合いながらも、お互いをリスペクトするフラットな関係も築いています。こうした選手たちの高い精神面とともに、それを支える日本のサポーターが、試合後にスタジアムを掃除する姿や、SNS等で現地の文化に敬意を表する行動が、世界中の様々なメディアで称賛されました。

このような姿勢は、急に生まれるものではありません。かつて過ごした、あるいは今、子どもたちが過ごしている日本の学校教育や地域社会、そして家庭という日常の中で、何年もかけて育まれてきたものです。家族、学級や生徒会、そして地域クラブ等での役割分担、みんなで行う掃除、お互いの個性を認め合う集団づくりといった、これまで私たちが当たり前としてきた日々の習慣や気配りこそが、世界に誇る日本の「和」として具現化したものであり、私たちの社会が培ってきた最大の財産です。

しかし、その一方で、日本という「和」の国で起きている極めて深刻な社会の現実にも、私たちは目を向けなければなりません。連日、ニュースを騒がせている匿名流動型犯罪グループ、いわゆる「トクリュウ」や「闇バイト」による凶悪事件です。世界から称賛される美しいモラルがありながら、もう片方では、同じ社会の中でこれほど冷酷で残忍な犯罪が増えているという、あまりにも激しいギャップに、私たちは真剣に向き合い、本気で問題の解決に尽力しなければなりません。この歪みの背景には、デジタル社会がもたらした顔が見えない関係の恐ろしさがあります。日本人が持つ高いモラルや思いやりの心は、目の前にいる人の存在や、その場所の空気を肌で感じるからこそ生まれてくるものです。ところが、スマートフォンの画面越しに偽名を使い互いの本名も顔も知らない世界に入った瞬間、人間が本来持っているはずの他者への共感や罪悪感というブレーキは、驚くほど簡単に麻痺してしまうのです。

さらに深刻なのは、犯罪グループがその心の麻痺や若者たちの孤立を巧妙に利用しているという現実です。学校や家庭、地域社会との繋がりを失い深い孤独や経済的な焦りを抱えた若者が、ネットの闇に足元をすくわれ、そして一度関わってしまえば、今度はグループからの脅迫という恐怖の圧力によって、二度と逃げ出せなくなります。

このギャップは、日本の良き文化が崩壊したからではありません。リアルな繋がりの「和」から切り離され、孤立してしまった人々が、デジタル世界の闇に呑み込まれているということなのです。光が強ければ強いほど、その裏にある影もまた濃くなります。世界に誇る「和」の文化を持つ日本だからこそ、そこからはみ出してしまった時の孤独は、耐え難いものになるのかもしれない。

この時代の中で、子どもたちの未来を守り、社会の闇をなくしていくために、私たち大人ができることは何でしょうか。それはやはり、顔の見える現実世界での繋がりを、もう一度私たちの足元で強固に作り直すことに他なりません。「おはよう!」「気をつけてね。」「大丈夫?」という何気ない声掛け、温かな団らん、安心できる居場所といった、一見地道な繋がりが子どもたちの心を孤独から救い、デジタル世界の闇から身を守る最も強力なセーフティーネットになると信じています。学校は、単に知識を授ける場所ではなく、他者と関わり、共に生きる「和」の価値を学ぶ場所です。私たち教職員も、保護者や地域の皆様としっかりと連携し、子どもたちが「自分は社会に必要されている、大切な存在なんだ」という確かな自己有用感を持てるよう、今後も全力を尽くしてまいります。世界に誇る日本の「和」を次の世代へつなげるよう、そして、誰一人取り残さない「和」の社会の再構築を誓う、今日このごろです。

夏の総合体育大会の 応援について

○応援生徒のみなさんへ

・服装...標準服または運動着
・会場への移動は公共交通機関を利用し、マナーを考えた行動を心がけてください。

○保護者のみなさまへ

・中学校会場の駐車場利用は禁止されています。
・中学校敷地内及び公共施設内は禁煙です。
・生徒のプライバシー保護や肖像権及び個人情報を守るため、撮影した記録の取り扱いには十分留意するようお願いいたします。

夏季閉庁日のお知らせ

夏休み期間のお問い合わせ

8:30～16:30

以下は学校閉庁日となり、電話対応や各種証明書の事務手続きも休止となります。

8月10日(月)～16日(日)

緊急時の連絡

相模原市役所コールセンター
042-770-7777

夏休みは 学校ではできない経験を

長い休みだからこそ、有効な時間の使い方を考え、自分をアップデートしてみませんか。
安全と健康を第一に、充実した夏となりますように。

熱中症対策／交通ルールの順守
SNSの使い方／
危険な場所に近づかない

2学期始業式に元気な笑顔に再会できることを教職員一同楽しみにしています！

7月の予定

7月

1日(水) 清掃リーダー会議(昼休み)、清掃グループ会議(清掃時)、諸活動なし、延長帰学活(15:40～16:00)
2日(木) 学校諸費集金・生活アンケート(朝の会)、体育委員会(16:10～17:10)、延長帰学活(15:40～16:00)、
そよかぜ級校外学習
3日(金) 延長帰学活(15:40～16:00)

6日(月) 延長帰学活(15:40～16:00)
7日(火) B日課、諸活動なし
8日(水) B日課、諸活動なし、大掃除(6校時)、ワックスがけ(放課後)、合唱委員会(15:30～16:30)
9日(木) B日課、学級・学年プログラム委員会(15:30～16:30)
10日(金) B日課、ブロック交流会(6校時、体育館)、延長帰学活(15:40～16:00)

13日(月) C日課、諸活動なし、三者面談1日目
14日(火) C日課、諸活動なし、三者面談2日目
15日(水) C日課、諸活動なし、三者面談3日目
16日(木) C日課、諸活動なし、学年集会(1年:1校時/2年:2校時/3年:3校時)、三者面談4日目
17日(金) 特別日課、諸活動なし、1学期終業式

(夏季休業 7月18日(土)～8月24日(月)まで)

8月

25日(火) 特別日課、2学期始業式、諸活動なし、防災下校訓練
26日(水) 延長帰学活 (15:00～15:20) 文化の部学年練習(3年:1校時)、合唱委員会 / 選挙管理委員会 15:30～16:30
27日(木) 学校生活アンケート(朝の会)、図書係会(昼休み:図書室) 延長帰学活 (15:40～16:00)、
体育委員会(16:10～17:10)
28日(金) 火曜日課、B日課、諸活動なし、部長会(昼休み)、 萌翔祭実行委員会(昼休み:3年ホール)



萌翔祭文化の部の開催について

今年度は 9月14日(月) 麻生市民館(川崎市) にて開催します。
詳細は改めてスクリレ等で連絡いたします。ご確認ください。